



# だっこするよ

令和3年10月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

行事とは？ 何だろう。「生きるって面白いぞ」を分かち合いたい！！

中秋の名月、その美しさに思わず夜の散歩にでかけました。月明かりに照らされた街並みはとても幻想的でした。10月には十三夜の栗名月があります。是非、栗を味わいながら、名月を愛でたいものです。

さて、コロナ禍での行事の取り組みについてお伝えします。私たちは“子どもたちの学びの体験は大事にしたい”と考え、北区保育課と相談しながら、感染防止対策を行い、現在のところ年間行事は行う所存です。ただ、今後の感染状況や園児、職員の陽性が判明した場合は、中止と致します。厚生労働省の新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに添って、毎日の手洗いやうがい、衛生消毒など、基本を確実にを行い、感染予防を行って参ります。ご理解とご協力のほどどうぞ宜しくお願い致します。

10月16日は、運動会です。日々の遊びと生活を大切にしながらそれぞれの年齢に応じた取り組みが行われています。8月、年長組と話し合いをしました。そもそも行事とは、「誰のために？そして、何故、するのだろうか？」と尋ねてみました。子どもたちは、少し戸惑いながらもやってみようという競技名がでました。それは「誰のためなの？」ともう一度聞くと「ママのため」「カッコいいところを見て欲しい」と。「じゃあ、見て欲しいと思っているのは誰？」と聞くと「それは自分だよ」と。「じゃあ自分たちのためなら今年も運動会はしよう。」と決まりました。また「どんな運動会にする？」では「楽しいのがいい！」「あきらめない！」などの意見がでました。自分のために楽しんで頑張る運動会ならきっとやり抜くことなのでしょう。今年のスローガンは、その言葉（気持ち）を合わせて「あきらめないで頑張るみんなで楽しむ運動会」に決まりました。行事会議を重ねて大人も準備していきます。

集団活動は、初め一人一人の違いが見えて、子どもも大人も悩んだり、落ち込んだりと迷走します。時には面倒なやり取りを繰返し…葛藤も自身で消化して…友だちを励まして…少しずつ皆の気持ちが一つにまとまり始め、一人では決して味わえない達成感や幸福感を体験するのです。それは、仲間との「共感と協働＝非認知能力」です。人数が多い赤羽台は、最高の環境だと感じます。

予行練習を終えて、年少組は、登場から嬉しくて元気いっぱい、年中組は、やる気満々！格好いいです。そして、年長組は、ほし組、おひさま組が一つになろうとしていました。皆で「やりたい」と決めたソーラン節、パラバルーン、対抗リレー…どれも真剣です。なんだか青春しています。堂々としているのは、取り組んできた自信です。「失敗もドンマイ」とみんなで支え合っている信頼は、きっと心の奥深いところで自己肯定感として育っていくことなのでしょう。嬉しい文章を見つけました。

<今日の活動>ソーラン節やパラバルーン、他のクラスのお友達にも見ってもらって緊張しながらも張り切っていました。1時間以上の練習になり、暑さもあったのですが、それでもやだという子はいませんでした。ラインパウダーで真っ白になった手を見せながら「お腹すいたあ〜」とっていてとても頼もしく見えました。自分達で決めた取り組みにはこんなに集中して頑張る事が出来るのです。ある日の今日の活動です。

「個」が育つには「集団」が必要であるといつも感じます。それは子どもにも大人にも言えそうです。行事の意義は、次世代を担う子どもたちに泥臭く「生きるって面白いぞ」と皆で分かち合うことですね。それは、社会性と自己理解ですね。さあ、今年の運動会どんなドラマが生まれるのか、一期一会、本番はもうすぐです。あの子達の青春、ママやパパの心にしっかり記憶してくださいね。写真 年長組 友だちを思いやって素敵な仲間になってきています。